



この仕事を始めて身近になったものがある。それはヤクルトだ。トレセンの記者席や会社にも、顔なじみのお姉さまが売りに来る。ストレスの多い現代社会で整腸剤は欠かせないものになっていくが、実は馬もそうらしい。ある調教師が「牧場の冷蔵庫にヤクルトがズラッと並んでいるよ。1本拝

役立つディープキンカメの乳酸菌

借したところあるもん（笑い）」と言っていた。

競走馬は、調教などによ

るストレスで約8割が胃か

いようといわれる。今年の

春、昨年のスプリンターズ

イープリンパクトやキングカメハメハという名馬たちが貢献している。

一昨年からノーザンファ

ームと麻布大学獣医学部准

教授の森田英利氏は、馬の

高い」と推察した。子馬を

使った実験例がある。ディ

ープインパクトとキングカ

メハメハの腸から善玉菌を

採取し、半数の馬に投与。

し、当然ドーピングにも引

つ掛からない。今後は予防

のみならず、下痢などをして

しまった馬にも対応してい

けたらいいですね」と腸

た。タレント蒼井優が「人にはヒトの乳酸菌」とCMで伝え

Sの勝ち馬アストンマーチ

ヤンが急死したが、もとは

急性出血性大腸炎を発症し

たことによるもの。競走馬

にとって腸を健康な状態に

保つことは重要な課題にな

腸内フローラ（腸の細菌集

団）の研究を進めている。

森田氏は「善玉菌が多いと

ストレスを受けにくいとさ

れる。現役時に高い能力を

存分に発揮した2頭は、い

それぞれの下痢の発症率を

比較した。菌を投与されな

かった馬は7割が発症した

が、投与された馬の発症は

わずか3割程度。しかも、

症状は軽かった。

ているが、馬にも同じこと

が言える。「馬にはウマの

乳酸菌」。現役時代にター

フをわかせた名馬たちは、

こんな形で何十頭、何百頭

の子馬のために今も活躍し

森田氏は「副作用はない

【和田美保】